

授業科目 高齡身体機能回復論

【担当教員名】 藤田 和樹	対象学年	3(理・作・言・社)4(健)	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【概要】
加齢に伴う身体諸機能の低下について知り、それらに対する運動トレーニングの効果について理解することを目指す。特に、近年、注目されている介護予防運動の背景と、転倒骨折予防に向けた運動トレーニングの効果について概説する。

【学習目標】

1. 加齢に伴う身体諸機能の低下について理解する。
2. 介護予防運動の背景について理解する。
3. 転倒に関連する運動機能について理解する。
4. 転倒骨折予防に向けた各種取組みについて理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	加齢に伴う身体諸機能の低下について		講義
2	高齢者の運動の背景について		講義
3	転倒に関連する環境要因について		講義
4	転倒に関連する運動機能について		講義
5	転倒骨折予防に向けた運動トレーニングの効果（筋機能、バランス機能など）		講義
6	転倒骨折予防に向けた運動トレーニングの効果（心肺機能、QOLなど）		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	特になし			
参考書	介護予防研修テキスト	厚生労働省老健局計画課監修	社会保険研究所	2001年刊行、3200円
	高齢者の転倒	レイン・ティディクサー	メディカ出版	2001年刊行、3000円
その他の資料	必要の都度配布する			

【評価方法】	【履修上の留意点】
①テスト ②講義への参加状況	高齢身体機能回復論実習と合わせて履修することを望む。